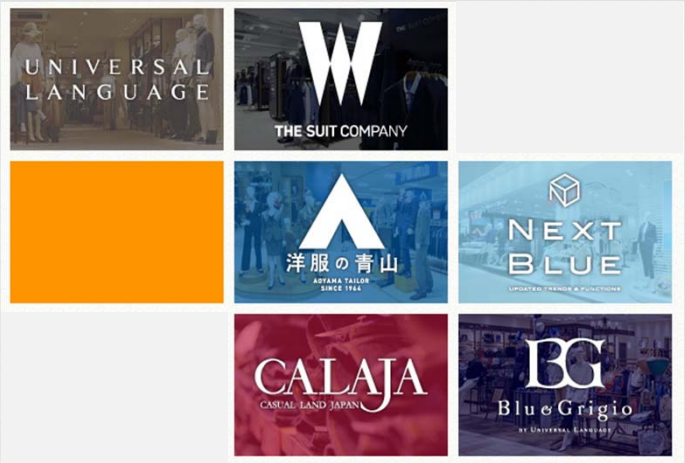
青山商事株式会社
2016年3月期　中間決算説明会



CONTENTS

◇2016年3月期上期業績の概要
及び通期の予想
■ 2015年9月期連結損益の状況 ・・・ 3
■ 2015年9月期連結貸借対照表 ・・・ 4
■ 2015年9月期
セグメント別損益の状況 ・・ 5
■ 2015年9月期個別損益の状況 ・・・ 6
■ 2016年3月期連結損益予想 ・・・・ 9
■ 2016年3月期セグメント別損益予想 ・10
■ 2016年3月期個別損益予想 ・・・・ 11
■ 株主還元方針 ・・・・・・・・・・・ 15
■ 配当及び配当予想 ・・・・・・・・・ 16
■ 自己株式取得 ・・・・・・・・・・・ 17
■ キャッシュ・フローと株主還元 ・・ 18

◇2016年3月期上期レビューと
下期の主な施策
■ 中期経営計画 ・・・・・・・・・・・ 21
■ 2016年3月期上期レビュー ・・・・ 24
■ 2016年3月期下期の主な施策・・・・ 34
■ 出退店実績及び計画 ・・・・・・・・・ 41
■ 移転・建替、リニューアル、
設備投資実績及び計画 ・ 42
■ コーポレートガバナンス・
コードへの対応・・・・ 44

◇補足資料
■ 連結決算概要及び予想～中間期、通期 ・ 46
■ 個別決算概要及び予想～中間期、通期 ・ 48
■ 主な経費の明細
（ビジネスウェア事業）・・ 50
■ 個別営業外収支の状況 ・・・・・・・ 51
■ 単位当たり売上・在庫推移
（ビジネスウェア事業）・・ 52
■ 商品別売上高
（ビジネスウェア事業）・・ 53
■ スーツ輸入状況 ・・・・・・・・・・・ 54

2016年3月期
上期業績の概要及び通期の予想

取締役副社長兼執行役員副社長
企画管理本部長

宮武　真人

◆2015年9月期　連結損益の状況◆

【単位：百万円】

期別 科目	前　期 （2014年9月期）	当　期 （2015年9月期）	増　減	増減率 （%）	期初 予想比	前期比増減の 主な要因
売上高	89,641	98,853	9,211	10.3	453	ビジネスウェア事業 +4,808 カジュアル事業+3,527
売上総利益	50,562	56,171	5,609	11.1	71	＜粗利率前期比＞ ビジネスウェア事業 +0.3Pt
販売費及び一般管理費	48,915	52,297	3,382	6.9	▲ 1,203	ビジネスウェア事業 +1,425 カジュアル事業+1,753
営業利益	1,646	3,873	2,226	135.2	1,273	ビジネスウェア事業 +1,657 カジュアル事業+447
経常利益	2,648	4,226	1,578	59.6	1,326	デリバティブ評価損222 (前期はデリバティブ評価益 346）　営業外収支568縮小
当期純利益	1,234	2,290	1,056	85.5	1,090	投資有価証券売却益 ▲166百万円、固定資産 除売却損▲93百万円

（注）　単位未満は切り捨てております。

◆2015年9月期　連結貸借対照表◆

【単位：百万円】

科目＼期別	前期末（2015年3月末）	当期末（2015年9月末）	増　減	前期末比増減の主な要因
資産合計	350,752	331,748	▲ 19,004	
流動資産	185,457	163,457	▲ 22,000	現金及び預金▲9,123、有価証券▲11,499
固定資産	165,086	168,109	3,023	有形固定資産+2,145
負債合計	112,683	97,102	▲ 15,581	
流動負債	61,771	46,212	▲ 15,559	電子記録債務+3,640、未払金▲6,830
固定負債	50,911	50,889	▲ 22	
純資産	238,069	234,646	▲ 3,423	利益剰余金▲20,414、自己株式+16,171
総資産	350,752	331,748	▲ 19,004	

（注）単位未満は切り捨てております。

◆2015年9月期 セグメント別損益の状況◆

【単位：百万円】

	前期（2014年9月期）		当期（2015年9月期）					
	実績		実績		前期比増減		増減率（%）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビジネスウェア事業	69,069	977	73,878	2,634	4,808	1,657	7.0	169.7
カジュアル事業	5,646	▲ 86	9,174	360	3,527	447	62.5	—
カード事業	1,938	523	2,061	670	123	147	6.4	28.1
印刷・メディア事業	5,289	▲ 117	5,353	▲ 190	64	▲ 73	1.2	—
雑貨販売事業	7,811	251	7,715	293	▲ 95	42	▲ 1.2	16.8
その他	1,616	64	2,112	78	496	13	30.7	20.7
調整額	▲ 1,729	33	▲ 1,442	24	286	▲ 8	—	▲ 25.7
合計	89,641	1,646	98,853	3,873	9,211	2,226	10.3	135.2

（注）　単位未満は切り捨てております。

◆　2015年9月期　個別損益の状況　◆

【単位：百万円】

期別 / 科目	前期（2014年9月期） 実績	当期（2015年9月期） 実績	増減	増減率（%）	期初予想	期初予想比	前期比増減の主な要因
売上高	69,777	74,755	4,978	7.1	75,800	▲ 1,045	・前期駆け込み需要の反動減の回復等
ビジネスウェア事業	68,014	73,131	5,117	7.5	74,070	▲ 939	・既存店 +5.0%（前提+6.3%）
カジュアル・リユース事業	1,763	1,623	▲ 140	▲ 7.9	1,730	▲ 107	
売上総利益	41,832	45,021	3,189	7.6	45,400	▲ 379	
（売上総利益率）	(60.0 %)	(60.2 %)	(+ 0.2%)		(59.9 %)	(+ 0.3%)	
ビジネスウェア事業	40,976	44,206	3,230	7.9	44,520	▲ 314	・円安等による仕入原価の上昇を
（売上総利益率）	(60.2 %)	(60.4 %)	(+ 0.2%)		(60.1 %)	(+ 0.3%)	セール内容の変更等で吸収
カジュアル・リユース事業	856	815	▲ 41	▲ 4.8	880	▲ 65	
（売上総利益率）	(48.5 %)	(50.2 %)	(+ 1.7%)		(50.9 %)	(▲ 0.7%)	
販売費及び一般管理費	40,916	42,432	1,516	3.7	43,600	▲ 1,168	
ビジネスウェア事業	39,953	41,548	1,595	4.0	42,670	▲ 1,122	
カジュアル・リユース事業	963	883	▲ 80	▲ 8.2	930	▲ 47	
営業利益	916	2,589	1,673	182.5	1,800	789	
ビジネスウェア事業	1,023	2,657	1,634	159.6	1,850	807	
カジュアル・リユース事業	▲ 107	▲ 68	39	—	▲ 50	▲ 18	

（注）　単位未満は切り捨てております。

◆　2015年9月期　個別損益の状況　◆

【単位：百万円】

期別 / 科目	前期（2014年9月期）	当期（2015年9月期）					前期比増減の主な要因
	実績	実績	増減	増減率（%）	期初予想	期初予想比	
売上高	69,777	74,755	4,978	7.1	75,800	▲ 1,045	・前期駆け込み需要の反動減の回復等
ビジネスウェア事業	68,014	73,131	5,117	7.5	74,070	▲ 939	・既存店 +5.0%（前提+6.3%）
カジュアル・リユース事業	1,763	1,623	▲ 140	▲ 7.9	1,730	▲ 107	
売上総利益	41,832	45,021	3,189	7.6	45,400	▲ 379	
（売上総利益率）	(60.0 %)	(60.2 %)	(+ 0.2%)		(59.9 %)	(+ 0.3%)	
ビジネスウェア事業	40,976	44,206	3,230	7.9	44,520	▲ 314	・円安等による仕入原価の上昇を
（売上総利益率）	(60.2 %)	(60.4 %)	(+ 0.2%)		(60.1 %)	(+ 0.3%)	セール内容の変更等で吸収
カジュアル・リユース事業	856	815	▲ 41	▲ 4.8	880	▲ 65	
（売上総利益率）	(48.5 %)	(50.2 %)	(+ 1.7%)		(50.9 %)	(▲ 0.7%)	
販売費及び一般管理費	40,916	42,432	1,516	3.7	43,600	▲ 1,168	
ビジネスウェア事業	39,953	41,548	1,595	4.0	42,670	▲ 1,122	
カジュアル・リユース事業	963	883	▲ 80	▲ 8.2	930	▲ 47	
営業利益	916	2,589	1,673	182.5	1,800	789	
ビジネスウェア事業	1,023	2,657	1,634	159.6	1,850	807	
カジュアル・リユース事業	▲ 107	▲ 68	39	—	▲ 50	▲ 18	

（注）　単位未満は切り捨てております。

◆　2015年9月期　個別損益の状況　◆

【単位：百万円】

期別 / 科目	前期（2014年9月期） 実績	当期（2015年9月期） 実績	増減	増減率（%）	期初予想	期初予想比
売上高	69,777	74,755	4,978	7.1	75,800	▲ 1,045
ビジネスウェア事業	68,014	73,131	5,117	7.5	74,070	▲ 939
カジュアル・リユース事業	1,763	1,623	▲ 140	▲ 7.9	1,730	▲ 107
売上総利益	41,832	45,021	3,189	7.6	45,400	▲ 379
（売上総利益率）	(60.0 %)	(60.2 %)	(+ 0.2%)		(59.9 %)	(+ 0.3%)
ビジネスウェア事業	40,976	44,206	3,230	7.9	44,520	▲ 314
（売上総利益率）	(60.2 %)	(60.4 %)	(+ 0.2%)		(60.1 %)	(+ 0.3%)
カジュアル・リユース事業	856	815	▲ 41	▲ 4.8	880	▲ 65
（売上総利益率）	(48.5 %)	(50.2 %)	(+ 1.7%)		(50.9 %)	(▲ 0.7%)
販売費及び一般管理費	40,916	42,432	1,516	3.7	43,600	▲ 1,168
ビジネスウェア事業	39,953	41,548	1,595	4.0	42,670	▲ 1,122
カジュアル・リユース事業	963	883	▲ 80	▲ 8.2	930	▲ 47
営業利益	916	2,589	1,673	182.5	1,800	789
ビジネスウェア事業	1,023	2,657	1,634	159.6	1,850	807
カジュアル・リユース事業	▲ 107	▲ 68	39	—	▲ 50	▲ 18

（注）　単位未満は切り捨てております。

＜ビジネスウェア事業＞
≪販売費及び一般管理費≫
【期初予想比】

○人件費　▲３億５０百万円

○販売費　▲１億７３百万円

○水道光熱費
▲２億７１百万円

○電算管理・
インターネット管理費
▲１億６６百万円

○物件費　▲８８百万円

経費全体で▲１１億２２百万円

◆　2016年3月期　連結損益予想　◆

【単位：百万円】

期別 / 科目	前　期（2015年3月期）	当　期（2016年3月期）	増　減	増減率（%）	期初予想比	前提
売上高	221,712	237,000	15,288	6.9	▲ 200	ビジネスウェア事業▲1,530 カジュアル事業+1,250
売上総利益	126,942	135,400	8,458	6.7	▲ 500	
販売費及び一般管理費	107,914	114,400	6,486	6.0	▲ 800	
営業利益	19,028	21,000	1,972	10.4	300	ビジネスウェア事業▲60、カジュアル事業+160、カード事業+100、雑貨販売事業+110
経常利益	21,683	21,600	▲ 83	▲ 0.4	300	
当期純利益	12,807	12,500	▲ 307	▲ 2.4	200	

（注）　単位未満は切り捨てております。

予想ＲＯＥ　5.3%

◆2016年3月期 セグメント別損益予想◆

【単位：百万円】

	前期（2015年3月期）		当期（2016年3月期）					
	実績		予想		前期比増減		期初予想比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビジネスウェア事業	179,107	17,537	186,470	18,840	7,363	1,303	▲ 1,530	▲ 60
カジュアル事業	12,669	▲ 177	18,150	610	5,481	787	1,250	160
カード事業	3,851	790	4,067	950	216	160	67	100
印刷・メディア事業	11,360	178	12,050	65	690	▲ 113	▲ 380	▲ 85
雑貨販売事業	15,339	458	15,200	460	▲ 139	2	400	110
その他	3,434	172	4,790	60	1,356	▲ 112	▲ 110	10
調整額	▲ 4,052	68	▲ 3,727	15	325	▲ 53	103	65
合計	221,712	19,028	237,000	21,000	15,288	1,972	▲ 200	300

（注）　単位未満は切り捨てております。

◆　2016年3月期　個別損益予想　◆

【単位：百万円】

期別 / 科目	前期（2015年3月期）	当期（2016年3月期）					前　　提
	実績	予想	増減	増減率（%）	期初予想	期初予想比	
売上高	181,480	188,400	6,920	3.8	190,000	▲ 1,600	
ビジネスウェア事業	177,690	184,810	7,120	4.0	186,370	▲ 1,560	・既存店前提 下期+1.0%、通期+2.5%
カジュアル・リユース事業	3,790	3,590	▲ 200	▲ 5.3	3,630	▲ 40	
売上総利益	108,405	112,300	3,895	3.6	113,400	▲ 1,100	
（売上総利益率）	(59.7 %)	(59.6 %)	(▲ 0.1%)		(59.7 %)	(▲ 0.1%)	
ビジネスウェア事業	106,578	110,560	3,982	3.7	111,570	▲ 1,010	下期、円安等による粗利低下を見込み、
（売上総利益率）	(60.0 %)	(59.8 %)	(▲ 0.2%)		(59.9 %)	(▲ 0.1%)	前期比▲0.4%、期初予想比▲0.3%
カジュアル・リユース事業	1,826	1,740	▲ 86	▲ 4.7	1,830	▲ 90	
（売上総利益率）	(48.2 %)	(48.5 %)	(+ 0.3%)		(50.4 %)	(▲ 1.9%)	
販売費及び一般管理費	91,303	93,800	2,497	2.7	94,900	▲ 1,100	
ビジネスウェア事業	89,376	92,060	2,684	3.0	93,070	▲ 1,010	
カジュアル・リユース事業	1,926	1,740	▲ 186	▲ 9.7	1,830	▲ 90	
営業利益	17,101	18,500	1,399	8.2	18,500	0	
ビジネスウェア事業	17,201	18,500	1,299	7.6	18,500	0	
カジュアル・リユース事業	▲ 100	0	100	–	0	0	

（注）　単位未満は切り捨てております。

◆　2016年3月期　個別損益予想　◆

【単位：百万円】

期別 / 科目	前期（2015年3月期）	当期（2016年3月期）					前　　提
	実績	予想	増減	増減率（%）	期初予想	期初予想比	
売上高	181,480	188,400	6,920	3.8	190,000	▲ 1,600	
ビジネスウェア事業	177,690	184,810	7,120	4.0	186,370	▲ 1,560	・既存店前提 下期+1.0%、通期+2.5%
カジュアル・リユース事業	3,790	3,590	▲ 200	▲ 5.3	3,630	▲ 40	
売上総利益	108,405	112,300	3,895	3.6	113,400	▲ 1,100	
（売上総利益率）	(59.7 %)	(59.6 %)	(0.1%)		(59.7 %)	(0.1%)	
ビジネスウェア事業	106,578	110,560	3,982	3.7	111,570	▲ 1,010	下期、円安等による粗利低下を見込み、
（売上総利益率）	(60.0 %)	(59.8 %)	(▲ 0.2%)		(59.9 %)	(▲ 0.1%)	前期比▲0.4%、期初予想比▲0.3%
カジュアル・リユース事業	1,826	1,740	▲ 86	▲ 4.7	1,830	▲ 90	
（売上総利益率）	(48.2 %)	(48.5 %)	(+ 0.3%)		(50.4 %)	(▲ 1.9%)	
販売費及び一般管理費	91,303	93,800	2,497	2.7	94,900	▲ 1,100	
ビジネスウェア事業	89,376	92,060	2,684	3.0	93,070	▲ 1,010	
カジュアル・リユース事業	1,926	1,740	▲ 186	▲ 9.7	1,830	▲ 90	
営業利益	17,101	18,500	1,399	8.2	18,500	0	
ビジネスウェア事業	17,201	18,500	1,299	7.6	18,500	0	
カジュアル・リユース事業	▲ 100	0	100	–	0	0	

（注）　単位未満は切り捨てております。

◆　2016年3月期　個別損益予想　◆

【単位：百万円】

期別 / 科目	前期（2015年3月期）	当期（2016年3月期）				
	実績	予想	増減	増減率（%）	期初予想	期初予想比
売上高	181,480	188,400	6,920	3.8	190,000	▲ 1,600
ビジネスウェア事業	177,690	184,810	7,120	4.0	186,370	▲ 1,560
カジュアル・リユース事業	3,790	3,590	▲ 200	▲ 5.3	3,630	▲ 40
売上総利益	108,405	112,300	3,895	3.6	113,400	▲ 1,100
（売上総利益率）	(59.7 %)	(59.6 %)	(0.1%)		(59.7 %)	(0.1%)
ビジネスウェア事業	106,578	110,560	3,982	3.7	111,570	▲ 1,010
（売上総利益率）	(60.0 %)	(59.8 %)	(▲ 0.2%)		(59.9 %)	(▲ 0.1%)
カジュアル・リユース事業	1,826	1,740	▲ 86	▲ 4.7	1,830	▲ 90
（売上総利益率）	(48.2 %)	(48.5 %)	(+ 0.3%)		(50.4 %)	(▲ 1.9%)
販売費及び一般管理費	91,303	93,800	2,497	2.7	94,900	▲ 1,100
ビジネスウェア事業	89,376	92,060	2,684	3.0	93,070	▲ 1,010
カジュアル・リユース事業	1,926	1,740	▲ 186	▲ 9.7	1,830	▲ 90
営業利益	17,101	18,500	1,399	8.2	18,500	0
ビジネスウェア事業	17,201	18,500	1,299	7.6	18,500	0
カジュアル・リユース事業	▲ 100	0	100	－	0	0

（注）　単位未満は切り捨てております。

＜ビジネスウェア事業＞
«販売費及び一般管理費»
【下期期初見込比】
＋１億１２百万円

○人件費　＋１億６０百万円
○販売費　▲１億６７百万円
○水道光熱費　▲９４百万円
○電算管理・
　　インターネット管理費
　　＋９５百万円
○賃借料　▲１億３４百万円
○減価償却費
　　▲６９百万円

株主還元

◆　株主還元　◆
～　株主還元方針　～

	中期経営計画期間中（2015年度から2017年度まで）の方針
株主還元方針	連結総還元性向130%を目処とする。
① 配当方針	当社連結の当期純利益に対する配当性向70%を目処とする。具体的には、安定的な配当として普通配当100円とし、配当性向70%を目処に計算した配当が100円を上回る場合は、その差を業績連動配当として期末に特別配当を実施する。
② 自己株式取得方針	連結の当期純利益の130%から配当総額を引いた金額を目処に自己株式の取得を行う。

◆　株主還元　◆
～　配当及び配当予想　～

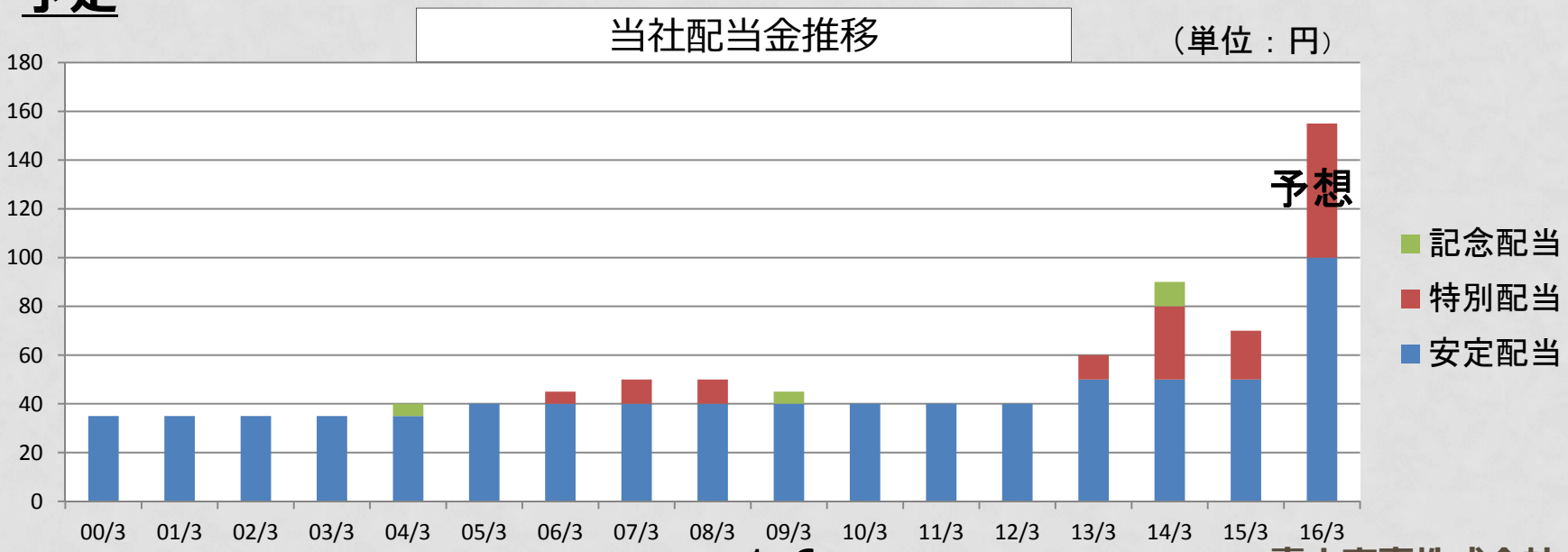
◇2016年3月期中間配当

株主還元方針に従い、安定配当1株につき50円を中間配当する

◇2016年3月期配当予想

（通期の連結当期純利益が達成された場合）

特別配当**55円**を含む、1株につき**155円（中間50円、期末105円）を予定**



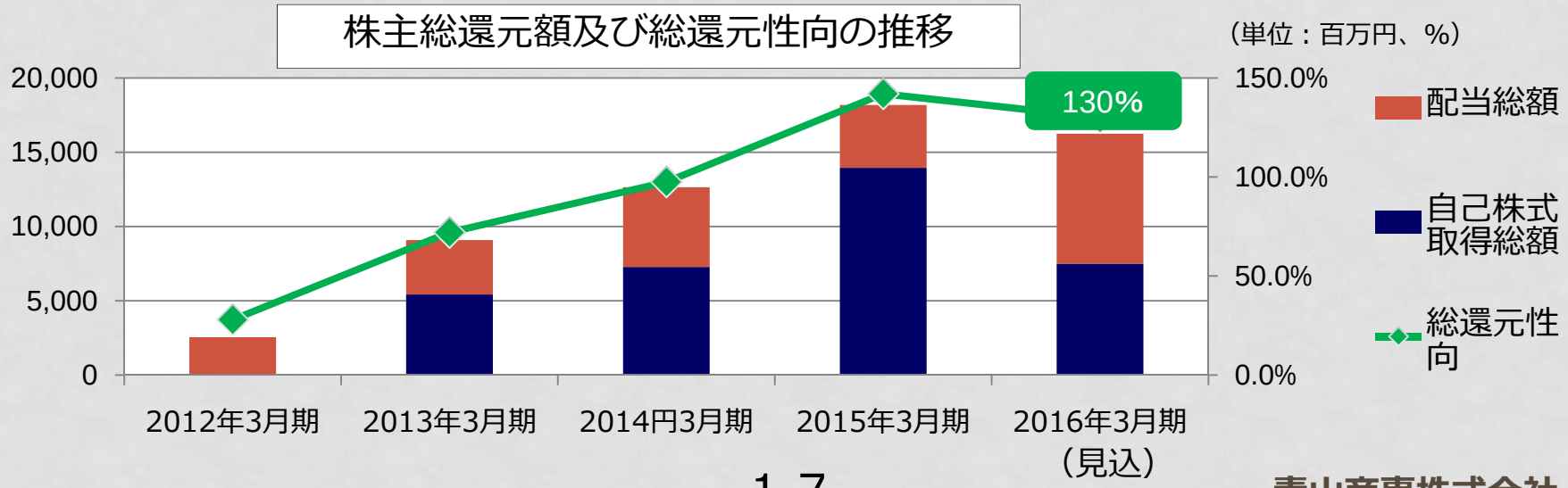
◆　株主還元　◆
～　自己株式取得　～

株主還元方針に従い、総還元性向130%から配当性向70%を引いた額にて取得

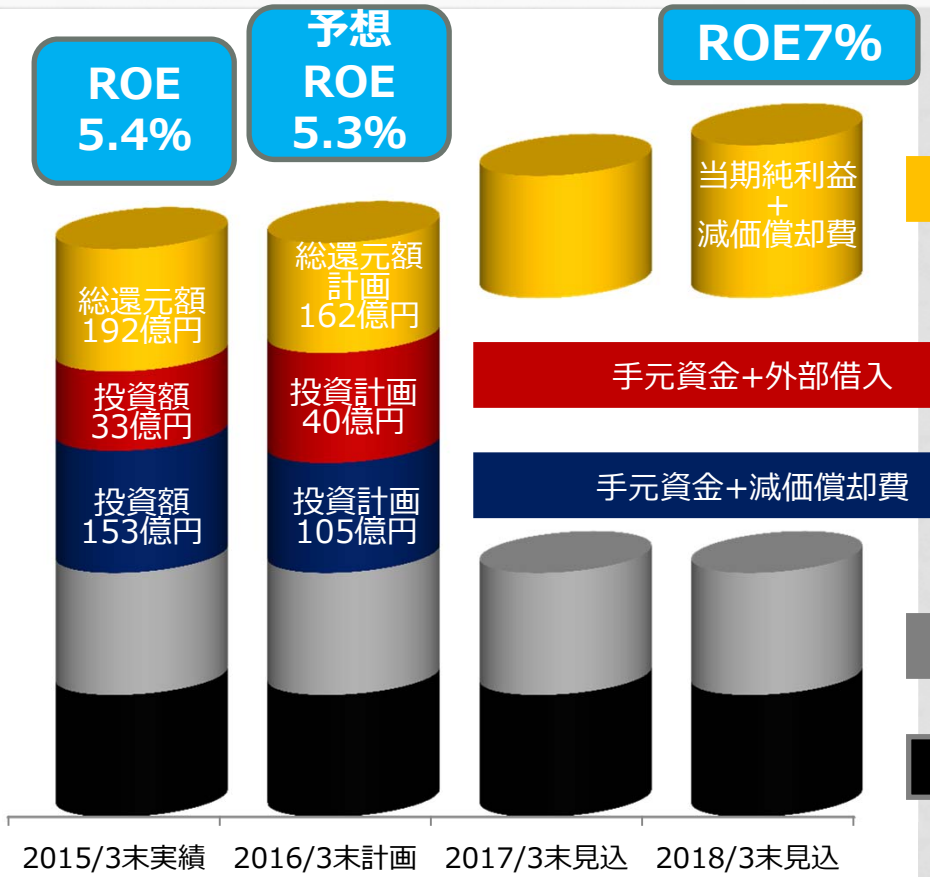
①2015年3月期には、**年間400万株の取得を実施**

②今期も2015年5月に48万株、8月に30万株の取得を実施

③また、**7月には自己株式600万株を消却**



◆　株主還元　◆
～　キャッシュ・フローと株主還元　～



●株主還元強化
中計期間中の総還元性向130%目処
- **安定配当　100円**
- **配当性向　70%目処**
- **自己株式取得**

●事業領域の拡大のための
投資・・・・3年間で200億円

●コア事業強化のための
戦略投資・・3年間で300億円

●手元準備資金・・・200億円

●季節要因によるキャッシュ
減少分・・・・・・・200億円

安定的な財務基盤を保ちつつ、コア事業及びコア以外の事業への成長投資を実施。
ROE改善のため、当期純利益以上（総還元性向130%目処）を株主還元。

2016年3月期上期レビューと下期の主な施策

代表取締役社長兼執行役員社長

青山　理

中期経営計画
～ＣＨＡＬＬＥＮＧＥ　2017～

◆　中期経営計画　◆
～50周年から次の50年へ～

新たな経営理念

持続的な成長をもとに、生活者への小売・サービスを通じてさらなる社会への貢献を目指す

新たな経営ビジョン

- コアビジネスにおける「強み」の拡大“ビジネスパーソン支持率NO.1”
- 積極的な事業領域の拡大“「安定的なビジネスポートフォリオ」の構築”
- ステークホルダーに向き合う経営“「持続的な成長のための改善」の実践”

青山商事は、昨年5月に創業50周年を迎え、次の50年に向けて新たな道を歩み始めました。これまで「より良い物をより安く　洋服の販売を通して社会に貢献する」をモットーに企業価値の向上に取り組んでまいりましたが、これからの50年も持続的に企業価値を高めることに心血を注ぎ、さらなる社会への貢献を目指してまいります。

この中期経営計画は新たな50年に向けての決意であり、役職員一同心を一つにしてチャレンジしてまいります。

◆　中期経営計画　◆
～ＣＨＡＬＬＥＮＧＥ　2017　目指すべき姿～

コアビジネスにおける「強み」の拡大

「ビジネスパーソン支持率NO.1」の確立

- 投資効率を重視した店舗出店
- 靴やシャツなどスーツ以外のアイテム強化による既存店の収益性強化
- 新業態開発も含めたレディスやＥＣ、法人制服の売上拡大

積極的な事業領域の拡大

「安定的なビジネスポートフォリオ」の構築

- アメリカンイーグル事業の売上拡大
- 海外事業、ＦＣ事業の売上拡大
- Ｍ＆Ａによる事業領域拡大

ステークホルダーに向き合う経営

「持続的な成長のための改善」の実践

- ガバナンス態勢の高度化
- 人材育成等人事戦略の再構築
- ＣＳＲ活動の拡大

過去最高益

連結営業利益270億円 → **総還元性向130%目処(中計期間中)** → **ＲＯＥ７%へ 経営効率改善**

2016年3月期上期レビュー

◆　2016年3月期上期レビュー　◆
～セグメント別上期実績（ポイント）～

ビジネスウェア事業

- 売上は天候要因等もあり若干下振れたが、営業利益については粗利率改善等もあり上振れで推移

カジュアル事業

- アメリカンイーグルの既存店売上が前年同期比126%と好調に推移したことなどから売上、営業利益ともに上振れで推移

上記以外の事業

- 印刷・メディア事業が紙など原材料価格上昇などにより下振れるが、それ以外の事業は売上、営業利益ともに上振れで推移

◆　2016年3月期上期レビュー　◆
～セグメント別上期実績（詳細）～

セグメント名		2016年3月期上期実績
ビジネスウェア事業		単体ＢＷ事業については、売上は既存店105%と上期予想106.3%に対し若干ショートしたが、粗利率が前年同期比+0.2Ptで推移したことやＬＥＤ化などによる水道光熱費減少などから、営業利益は期初予想比上振れで推移
	出店・移転等	出店6店（計画6店）、移転1店（計画1店）、閉店2店（計画1店）とほぼ計画通り実施。
	レディス強化施策	就活需要増やサマーフォーマル全店投入などにより全体で前年同期比128.6%と好調に推移
	法人部門強化	法人提携261社（前期末比33社増）となり、提携売上は順調に拡大
	インバウンド需要の取り込み	免税店の拡大（9月末137店）及び売場環境の整備を実施した結果、好調に推移
	EC部門強化	順調に増加。上期は即日配送など実施しフォーマル等の売上増に寄与
カジュアル事業		㈱イーグルリテイリングの既存店売上は、前年同期比126.6%と好調に推移 出店した5店（計画5店）は、いずれも好調 また、キャラジャにおいて不採算店4店を閉店
カード事業		売上営業利益とも期初予想比上振れ：ショッピング売上を中心に堅調に推移
印刷・メディア事業		売上営業利益とも期初予想比下振れ：紙など原材料価格高騰などにより苦戦
雑貨販売事業		売上営業利益とも期初予想比上振れ：既存店売上は堅調 前期不採算店9店を閉店した為、前年同期比減収営業増益
その他		
	飲食事業	売上営業利益とも期初予想比上振れ：既存店売上は前年同期比101.7% 出店5店（計画5店）は計画通り（内新業態「ゆず庵」1店）
	リユース事業	出店3店（計画1店）

◆　2016年3月期上期レビュー　◆
～　ビジネスウェア事業上期総括　～

◇上期のビジネスウェア事業は、増収営業増益

売上高

- 前期の駆け込み反動減の回復
  （既存店売上は前年同期比105%）
- スーツ、礼服やレディス等が好調

粗利

- 粗利率は前年同期比+0.2ポイント
- 円安影響をセール内容の見直し等により吸収

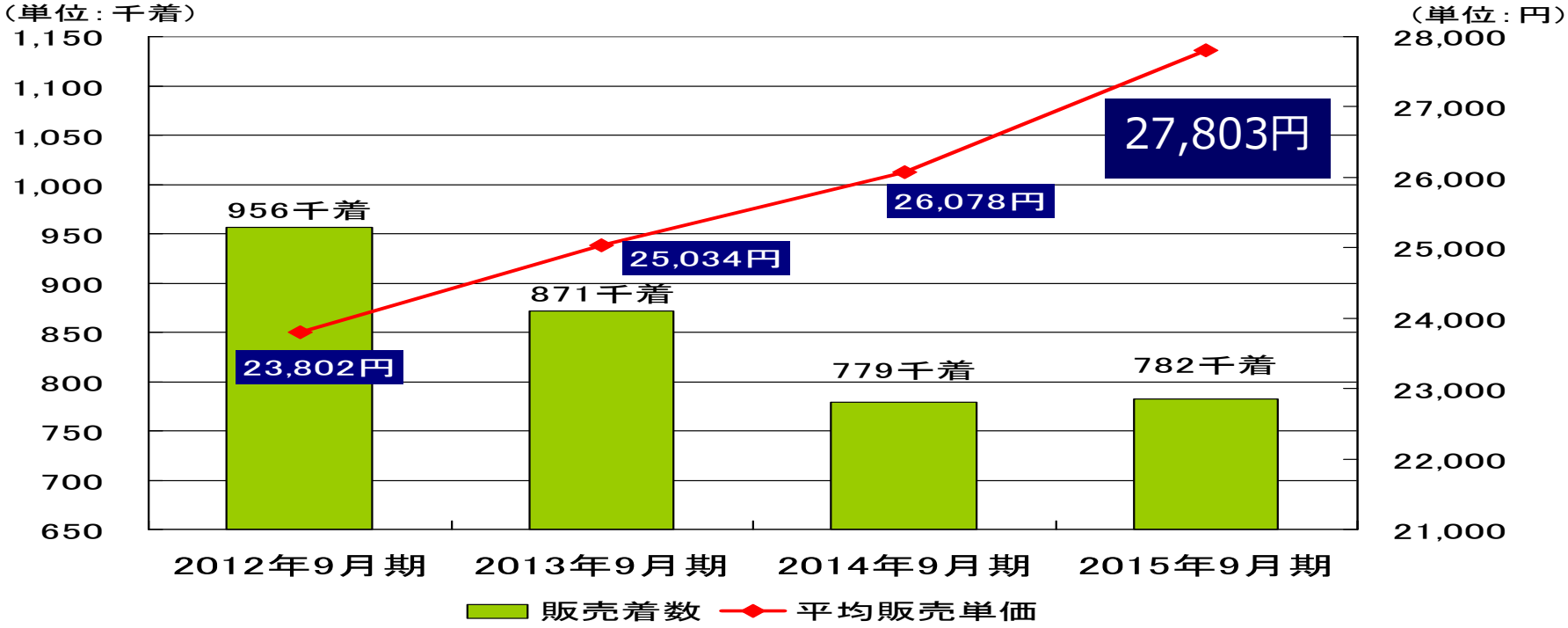
経費

- 経費率は前年同期比▲1.9ポイント
- LED化などによる水道光熱費減

◆　2016年3月期上期レビュー　◆
～　スーツ販売着数、平均販売単価　～

◇スーツの平均販売単価が大幅改善

要因　①2着目千円から2着目半額へセール内容を変更したこと
　　②高付加価値商品の構成をアップしたこと



◆　2016年3月期上期レビュー　◆

～　就活開始時期の変更及びインバウンドによる影響　～

1.就活影響

①開始時期変更により前期第3Ｑから第4Ｑへ就活売上が大きくシフト。
②今期上期の就活売上は、就職活動の長期化などにより前年同期比161%と伸長

就活売上の四半期別前年同期比推移

	前期第3Q	前期第4Q	今期第1Q	今期第2Q	今期上期
前年同期比	25%	265%	186%	129%	161%

2.インバウンド影響

①9月末の登録免税店はTSC合わせて137店舗（前期末比5店舗増）
②銀聯キャンペーンの参加などにより、売上は計画通り順調に増加

◇上期既存店売上前年同期比+5%の内、就活及びインバウンドによる影響は1%程度、残り4%は前年反動減の回復分と推測。

◆　2016年3月期上期レビュー　◆
～ビジネスウェア事業(レディス)～

◇上期レディス売上は、前年同期比128.6%

1.就活・・
就活の長期化により買い足し需要等が好調に推移

2.キャリア・・
雑誌やテレビCM等による認知度アップに従い好調に推移

3.フォーマル・・
サマーフォーマル全店展開、テレビCM放映などにより好調に推移

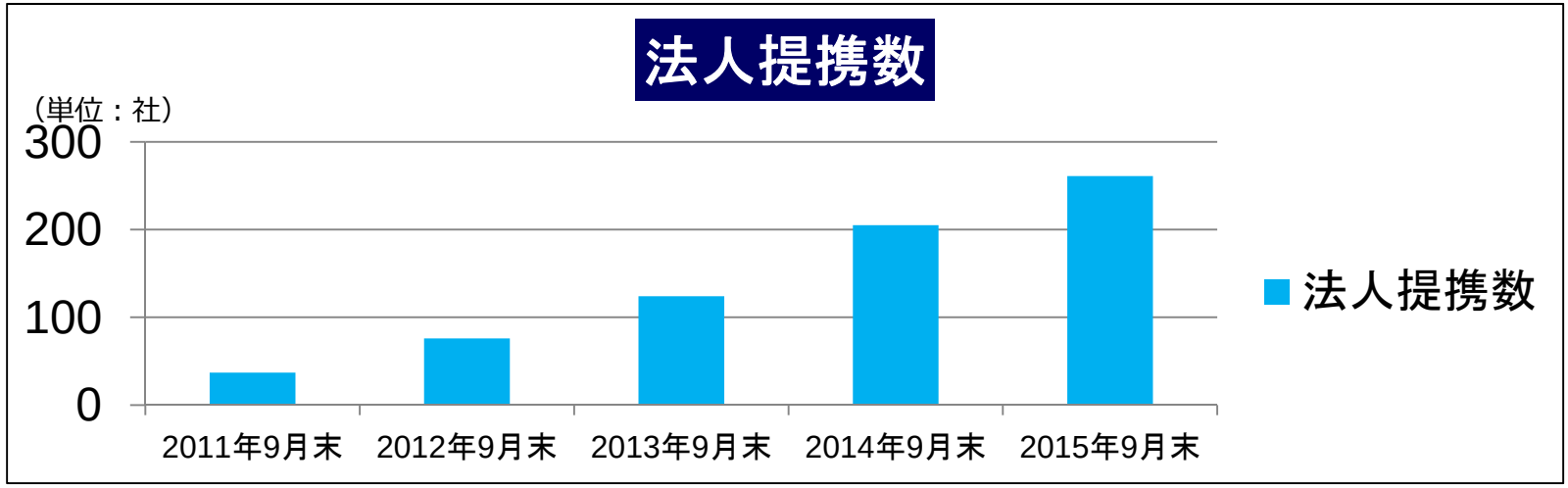
今期施策	上期レビュー
①オケージョンニーズに対応した商品、販促、営業の連動強化	新商品開発、ニュースリリース、雑誌・CMなどの販促、営業店のVMD指導、営業店の商品知識を含めた接客指導といった連動を強化
②フォーマルやセレモニースーツの品揃え、販促強化	サマーフォーマルを全店展開するとともに、テレビCMも放映
③売場面積の拡大及び環境の整備	フォーマルの売場拡大と什器変更など売場整備を実施
④レディス部門を東京本部へ集約	10月よりレディス部門は東京本部へ異動し、バイヤーのレベルアップ等を図る

◆　2016年3月期上期レビュー　◆
～ビジネスウェア事業(法人提携)～

◇法人提携は261社（前期末比33社増）と、順調に拡大

法人提携売上・・
金融、メーカー、生協、市教職員組合など
幅広く提携先を増やし、提携先様の従業員売上は
順調に増加

その他、JALやANAなど法人制服売上も順調に推移



◆　2016年3月期上期レビュー　◆
～　ビジネスウェア事業(TOPICS)　～

◇ラグビー日本代表などの公式スーツを提供

「洋服の青山」では、以下のような様々なスポーツ団体の公式スーツ等を提供

ラグビー15人制男子日本代表チーム
監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【スーツサプライヤー】としてスーツを提供しています。

福岡ソフトバンクホークス
監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【オフィシャルチームスーツ】としてスーツを提供しています。

サンフレッチェ広島
監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【オフィシャルチームスーツ】としてスーツ・シャツ・ネクタイを提供しています。
また、セレモニーで着用するタキシードも提供しています。

北海道日本ハムファイターズ
監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【オフィシャルチームスーツ】としてスーツ・シャツ・ネクタイを提供しています。

ヴィッセル神戸
監督、コーチ、選手などが遠征時に着用する【オフィシャルチームスーツ】としてスーツ・シャツ・ネクタイを提供しています。

ラグビー15人制男子日本代表チーム

提供スーツブランド：HILTON

福岡ソフトバンクホークス
→福岡ソフトバンクホークスHPはこちら

提供スーツブランド：HILTON

◆　2016年3月期上期レビュー　◆
～　㈱イーグルリテイリングの状況　～

◇上期の営業利益は、前年同期比大幅改善

売上高	既存店売上高は、前年同期比126%と大きく伸長 出店は、期初計画通り5店舗を出店
粗利	価格見直し実施するが円安影響等を吸収できず 前年同期比▲2.4ポイント
経費	新店経費及び認知度アップのための販促費増

（単位：百万円）	2015年3月期 上期	2016年3月期 上期	前年同期比増減	前年同期比	期初予想比増減
売上高	4,100	7,806	+3,706	190.4%	+1,246
売上総利益率	56.8%	54.4%	▲2.4Pt	—	▲1.5Pt
販売費及び一般管理費	2,358	3,837	+1,479	162.7%	+319
営業利益	▲29	410	+439	—	+260

2016年3月期下期の主な施策

◆　2016年3月期下期の主な施策　◆
～セグメント別下期及び通期予想（ポイント）～

ビジネスウェア事業

- 下期、円安等による粗利率低下を見込み、通期の営業利益は、ほぼ期初予想通り

カジュアル事業

- 下期の営業利益は、ほぼ期初予想通り
  通期の営業利益は、期初予想を上回る見込み

上記以外の事業

- 下期、事業ごとバラツキはあるが、
  通期の営業利益は、期初予想を若干上回る見込み

◆　2016年3月期下期の主な施策　◆
～セグメント別下期及び通期予想（詳細）～

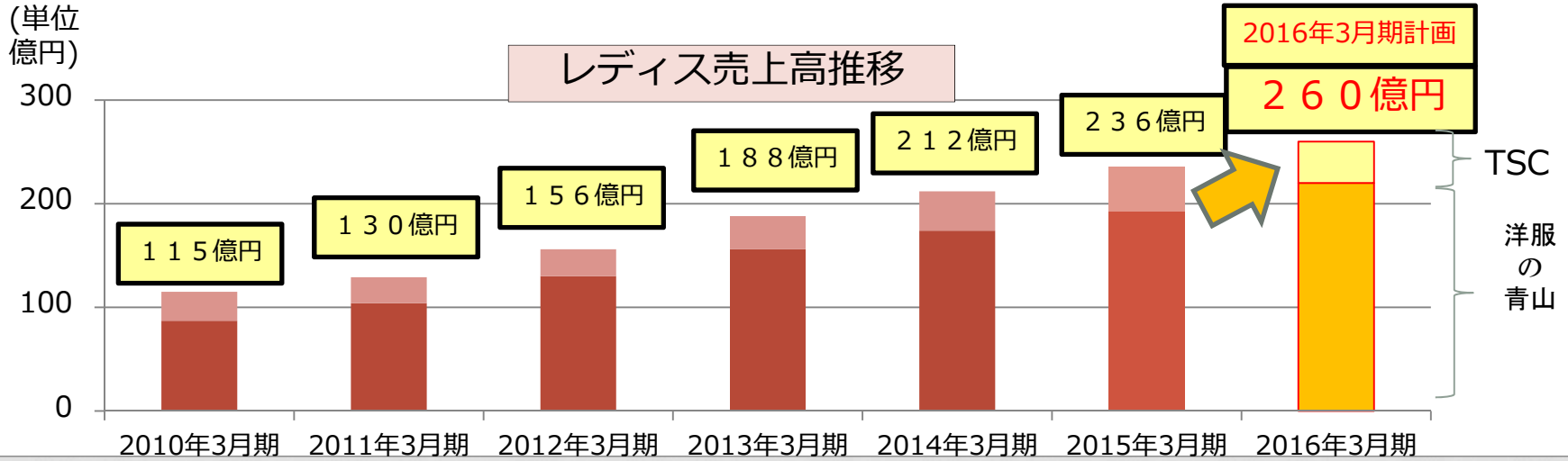
セグメント名		2016年3月期下期及び通期予想
ビジネスウェア事業		既存店売上は、下期で前年同期比101%（期初予想通り）、通期で102.5%を見込む 就活開始時期変更が一巡し販促や在庫、販売方法、人員等万全の対策で臨む
	出店・移転等	出店11店、移転5店と期初予想通り。引き続きSCを中心に出店
	レディス強化施策	新たにモデルの高垣麗子さんを起用しキャリア向け販促を強化
	法人部門強化	引き続き法人提携の拡大、企業制服需要、営業店の制服需要の取込みを強化
	インバウンド需要の取り込み	中国語圏最大のソーシャルメディアであるWeibo（微博/ウェイボー）と中国版のLINE ともいえるWechat（ウイチャット）に「洋服の青山」公式アカウントを開設し、さらなる集客増を図る。
	EC部門強化	全従業員を対象にしたEC紹介売上の評価を行うことでEC売上アップを図る。
カジュアル事業		㈱イーグルリテイリングの既存店売上は、下期で前年同期比103%、 通期で114.8%を見込む。出店は期初計画通り下期5店、通期では10店を計画 また、下期にキャラジャ不採算店6店を閉店予定
カード事業		引き続きショッピング増を織り込み、通期で増収営業増益を見込む
印刷・メディア事業		原材料価格高騰などによる原価上昇を見込み、通期で増収営業減益を見込む
雑貨販売事業		既存店売上は堅調推移を織り込むが前期9店閉店したため、通期で減収営業増益を見込む
その他		
	飲食事業	既存店売上は、下期前年同期比101.8%、通期で101.7%を見込む 出店は期初計画通り下期4店（内ゆず庵1店）、通期では9店（内「ゆず庵」2店）を計画
	リユース事業	出店は下期1店舗、通期では4店舗を計画

◆　2016年3月期下期の主な施策　◆
～ビジネスウェア事業(レディス)～

◇今期レディス売上計画２６０億円達成に向け、各施策を実施

下期の主な施策
キャリアブランド「アンカーウーマン」の新キャラクターにモデルの高垣麗子さんを起用。雑誌、テレビCM、営業店販促物等連動し売上アップを図る
引き続きフォーマル、セレモニースーツの品揃え強化を図るとともに、テレビCMも放映
キャリアやフォーマルの売場拡大と什器変更など売場整備

【高垣麗子さん】



◆　2016年3月期下期の主な施策　◆
～　ビジネスウェア事業(TOPICS)　～

◇「AOYAMA PRESTIGE TECHNOLOGY」第５弾はストレッチ機能スーツ

前期下期より、「スーツに進化を。」のスローガンのもと消費者に求められる高機能商品の開発を強化するとともに、これらの高機能商品を消費者に分かりやすく伝えるため、機能性商品を
「AOYAMA PRESTIGE TECHNOLOGY」として訴求を強化

これまでに「EXILE」のボーカルTAKAHIROさんや
「三代目 Ｊ Soul Brothers」のボーカル登坂さん、
今市さんなど様々なキャラクターを起用し、
認知度向上を図ってきた。

第5弾は、「EXILE」の黒木啓司さん、
TETSUYAさん、橘ケンチさんを起用し
それぞれのダンスパフォーマンスで
当社のストレッチスーツの
機能性をアピール

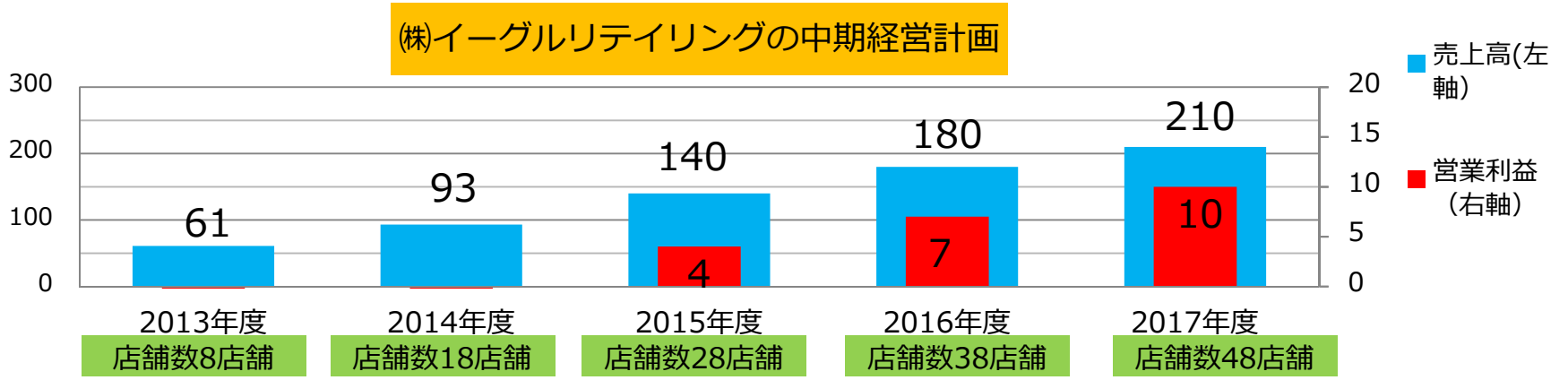
【(左から)黒木啓司さん、
TETSUYA さん、橘ケンチさん】

◆　2016年3月期下期の主な施策　◆
～　㈱イーグルリテイリングの下期施策　～

◇課題への取組み

課題	取組み
出店戦略	期初計画通り下期5店舗を有力SC内に出店予定
商品戦略	引き続きウィメンズのMD改善を図りウィメンズ売上増を図る
販促戦略	引き続きテレビCMや交通広告、イベントへの協賛など実施
粗利対策	引き続き円安による原価上昇に対し商品価格見直しを実施
EC戦略	リアル店舗の地方出店に伴いEC売上も徐々に増加。前期に続きEC限定企画やLINE販促などを実施し売上増を図る

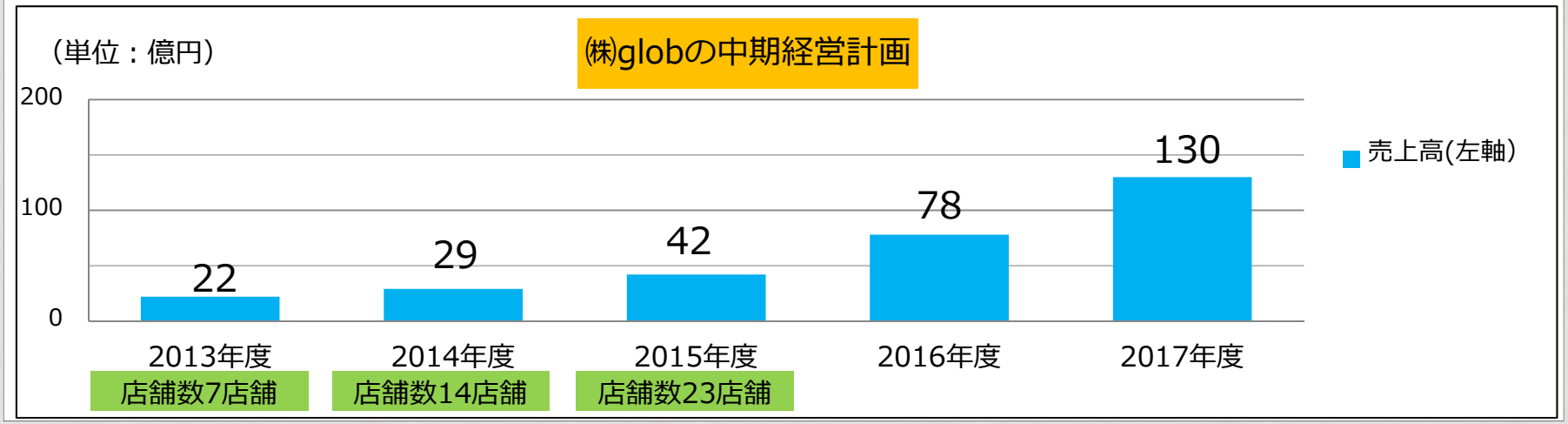
AMERICAN EAGLE OUTFITTERS



◆　2016年3月期下期の主な施策　◆
～　㈱ globの下期施策　～

◇課題への取組み

課題	取組み
出店戦略	期初計画通り下期4店舗（内「ゆず庵」1店舗）を出店予定 （通期で9店舗出店となり2016年3月末で23店舗体制）
人材	①人材確保：青山商事グループ全体として採用活動を支援 ②オペレーション：㈱物語コーポレーションとの連携による オペレーションスキルのアップや人材育成を図る



出退店等の実績及び計画

◆　出退店実績及び計画　◆

（単位：店）

出店	2016年3月期上期実績			2016年3月期下期計画		
	期初計画	上期実績	期初比	期初計画	下期計画	期初比
ビジネスウェア事業	**6**	**6**	**0**	**12**	**11**	**▲ 1**
洋服の青山	4	4	0	7	7	0
TSC	0	0	0	5	4	▲ 1
UL、BG（アウトレット含む）	2	2	0	0	0	0
カジュアル事業	**5**	**5**	**0**	**5**	**5**	**0**
アメリカンイーグル	5	5	0	5	5	0
その他	**6**	**8**	**2**	**7**	**5**	**▲ 2**
焼肉きんぐ	4	4	0	3	3	0
ゆず庵	1	1	0	1	1	0
セカンドストリート	0	2	2	3	1	▲ 2
ジャンブルストア	1	1	0	0	0	0
連結合計	**17**	**19**	**2**	**24**	**21**	**▲ 3**
閉店	期初計画	上期実績	期初比	期初計画	下期計画	期初比
洋服の青山	1	2	1	0	1	1
NB	0	0	0	0	6	6
TSC	0	0	0	0	1	1
キャラジャ	5	4	▲ 1	6	6	0
連結合計	**6**	**6**	**0**	**6**	**14**	**8**

（注）今期、NB6店舗及びキャラジャ10店舗を閉店する計画であります。

◆　移転・建替、リニューアル、設備投資実績及び計画　◆

（単位：店）

	2016年3月期上期実績			2016年3月期下期計画		
移転・建替	期初計画	上期実績	期初比	期初計画	下期計画	期初比
洋服の青山	1	1	0	5	4	▲1
TSC・UL	0	0	0	0	1	1
計	**1**	**1**	**0**	**5**	**5**	**0**
リニューアル	期初計画	上期実績	期初比	期初計画	下期計画	期初比
洋服の青山	120	120	0	0	0	0
TSC・UL	5	0	▲5	0	0	0
計	**125**	**120**	**▲5**	**0**	**0**	**0**

（単位：百万円）

設備投資額	期初上期計画	期初下期計画	期初通期計画	上期実績	下期計画	通期計画
ビジネスウェア事業	3,200	7,300	10,500	5,519	4,981	10,500
カジュアル事業	900	700	1,600	911	1,089	2,000
カード事業	10	10	20	11	39	50
印刷・メディア事業	190	190	380	127	73	200
雑貨販売事業	50	50	100	42	58	100
その他	900	1,300	2,200	715	985	1,700
連結合計	**5,250**	**9,550**	**14,800**	**7,325**	**7,225**	**14,550**

（注）㈱イーグルリテイリング及び㈱globの店舗は青山商事㈱が設備投資を行い転貸しておりますが、投資額は各事業に含めております。

コーポレートガバナンス・コードへの対応

◆　コーポレートガバナンス・コードへの対応　◆

「コーポレートガバナンス態勢高度化」への取組み

基本的にはコーポレートガバナンス・コードすべての項目に対しコンプライする。詳細については、今後東証に開示するコーポレートガバナンス報告書をご参照いただきたい。具体的な取組みとしては以下の４項目

主な指針	取組み
情報開示の充実	中期経営計画の策定・公表及び半年ごとのフォロー開示を実施 また、招集通知や決算短信等開示資料の英文化を実施
取締役の指名及び報酬	独立社外取締役を委員長とする指名諮問委員会及び報酬諮問委員会を設置し、取締役及び執行役員の指名及び報酬の審議・答申を行う
社外取締役の複数化	今年度選定予定
社外取締役の独立基準	東証やISS基準を基に厳し目の独立基準を制定

補足資料

◆　2016年3月期　連結決算概要及び予想～中間期　◆

（単位：百万円、%）

	2015年3月期中間期（平成26年9月期）		2016年3月期中間期（平成27年9月期）				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	期初予想	期初予想比
売上高	89,641	100.0	98,853	100.0	110.3	98,400	453
ビジネスウェア事業	69,069	—	73,878	—	107.0	74,700	▲ 822
内 レディス	6,967	—	8,960	—	128.6	7,700	1,260
カジュアル事業	5,646	—	9,174	—	162.5	8,000	1,174
カード事業	1,938	—	2,061	—	106.4	2,000	61
印刷・メディア事業	5,289	—	5,353	—	101.2	5,730	▲ 377
雑貨販売事業	7,811	—	7,715	—	98.8	7,410	305
その他	1,616	—	2,112	—	130.7	2,080	32
調整額	▲ 1,729	—	▲ 1,442	—	—	▲ 1,520	78
売上総利益	50,562	56.4	56,171	56.8	0.4	56,100	71
販売費及び一般管理費	48,915	54.6	52,297	52.9	106.9	53,500	▲ 1,203
営業利益	1,646	1.8	3,873	3.9	235.2	2,600	1,273
経常利益	2,648	3.0	4,226	4.3	159.6	2,900	1,326
中間純利益	1,234	1.4	2,290	2.3	185.5	1,200	1,090
1株当たり中間純利益	21円08銭	—	41円80銭	—	—	20円76銭	—

（注）1.　2016年3月期より、従来のセグメント名のうち「紳士服販売事業」を「ビジネスウェア事業」に「商業印刷事業」を「印刷・メディア事業」に名称変更しております。
2.　セグメント別の売上高は、グループ間取引相殺消去前の数値であります。
3.　「カジュアル事業」の売上高には、青山商事（株）のカジュアル事業、及び（株）イーグルリテイリングの売上高が含まれております。
4.　「その他」の売上高には、青山商事（株）のリユース事業、及び（株）ｇｌｏｂの売上高が含まれております。
5.　「前期比」は、売上総利益については売上比の増減であり、その他の科目は伸率であります。
6.　「期初予想比」は、金額の増減であります。
7.　「1株当たり中間純利益」は、期中平均株式数（自己株式を控除）で算出しております。

◆　2016年3月期　連結決算概要及び予想～通期　◆

（単位：百万円、%）

	2015年3月期（平成27年3月期）		2016年3月期（平成28年3月期）				
	実績	売上比	予想	売上比	前期比	期初予想	期初予想比
売上高	221,712	100.0	237,000	100.0	106.9	237,200	▲ 200
ビジネスウェア事業	179,107	—	186,470	—	104.1	188,000	▲ 1,530
内　レディス	23,600	—	26,000	—	110.2	26,000	0
カジュアル事業	12,669	—	18,150	—	143.3	16,900	1,250
カード事業	3,851	—	4,067	—	105.6	4,000	67
印刷・メディア事業	11,360	—	12,050	—	106.1	12,430	▲ 380
雑貨販売事業	15,339	—	15,200	—	99.1	14,800	400
その他	3,434	—	4,790	—	139.5	4,900	▲ 110
調整額	▲ 4,052	—	▲ 3,727	—	—	▲ 3,830	—
売上総利益	126,942	57.3	135,400	57.1	▲ 0.2	135,900	▲ 500
販売費及び一般管理費	107,914	48.7	114,400	48.3	106.0	115,200	▲ 800
営業利益	19,028	8.6	21,000	8.9	110.4	20,700	300
経常利益	21,683	9.8	21,600	9.1	99.6	21,300	300
当期純利益	12,807	5.8	12,500	5.3	97.6	12,300	200
1株当たり当期純利益	221円55銭	—	229円30銭	—	—	212円77銭	—

（注）1.　2016年3月期より、従来のセグメント名のうち「紳士服販売事業」を「ビジネスウェア事業」に、「商業印刷事業」を「印刷・メディア事業」に名称変更しております。
2.　セグメント別の売上高は、グループ間取引相殺消去前の数値であります。
3.　「カジュアル事業」の売上高には、青山商事（株）のカジュアル事業、及び（株）イーグルリテイリングの売上高が含まれております。
4.　「その他」の売上高には、青山商事（株）のリユース事業、及び（株）ｇｌｏｂの売上高が含まれております。
5.　「前期比」は、売上総利益については売上比の増減であり、その他の科目は伸率であります。
6.　「期初予想比」は、金額の増減であります。
7.　「1株当たり当期純利益」は、実績及び期初予想については期中平均株式数（自己株式を控除）、予想については中間期末株式数（自己株式を控除）で算出しております。

◆ 2016年3月期　個別決算概要及び予想～中間期 ◆

（単位：百万円、%）

	2015年3月期中間期（平成26年9月期）		2016年3月期中間期（平成27年9月期）				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	期初予想	期初予想比
売上高	69,777	100.0	74,755	100.0	107.1	75,800	▲ 1,045
ビジネスウェア事業	68,014	100.0	73,131	100.0	107.5	74,070	▲ 939
カジュアル・リユース事業	1,763	100.0	1,623	100.0	92.1	1,730	▲ 107
売上総利益	41,832	60.0	45,021	60.2	0.2	45,400	▲ 379
ビジネスウェア事業	40,976	60.2	44,206	60.4	0.2	44,520	▲ 314
カジュアル・リユース事業	856	48.5	815	50.2	1.7	880	▲ 65
販売費及び一般管理費	40,916	58.6	42,432	56.8	103.7	43,600	▲ 1,168
ビジネスウェア事業	39,953	58.7	41,548	56.8	104.0	42,670	▲ 1,122
カジュアル・リユース事業	963	54.6	883	54.4	91.8	930	▲ 47
営業利益	916	1.3	2589	3.5	282.5	1,800	789
ビジネスウェア事業	1,023	1.5	2,657	3.6	259.6	1,850	807
カジュアル・リユース事業	▲ 107	▲ 6.1	▲ 68	▲ 4.2	—	▲ 50	▲ 18
営業外収支	1,404	2.0	760	1.0	54.1	600	160
（デリバティブ評価損益）	(346)	(0.5)	(▲ 222)	(▲ 0.3)	—	(▲ 210)	(▲ 12)
経常利益	2,320	3.3	3,349	4.5	144.3	2,400	949
特別損益	▲ 247	▲ 0.4	▲ 360	▲ 0.5	—	▲ 750	390
中間純利益	1,205	1.7	1,866	2.5	154.8	1,050	816
1株当たり中間純利益	20円59銭	—	34円06銭	—	—	18円16銭	—

（注）1.　2016年3月期より、従来の「スーツ事業」を「ビジネスウェア事業」に名称変更しております。
2.　「前期比」は、売上総利益については売上比の増減であり、その他の科目は伸率であります。
3.　「1株当たり中間純利益」は、期中平均株式数（自己株式を控除）で算出しております。
4.　営業外収支の「デリバティブ評価損益」は、クーポンスワップ契約等に係るものであります。
（2016年3月期の予想額は2015年9月末の為替レート日米金利差不変を前提としております。）

◆　2016年3月期　個別決算概要及び予想～通期　◆

（単位：百万円、%）

	2015年3月期（平成27年3月期）		2016年3月期（平成28年3月期）				
	実績	売上比	予想	売上比	前期比	期初予想	期初予想比
売上高	181,480	100.0	188,400	100.0	103.8	190,000	▲ 1,600
ビジネスウェア事業	177,690	100.0	184,810	100.0	104.0	186,370	▲ 1,560
カジュアル・リユース事業	3,790	100.0	3,590	100.0	94.7	3,630	▲ 40
売上総利益	108,405	59.7	112,300	59.6	▲ 0.1	113,400	▲ 1,100
ビジネスウェア事業	106,578	60.0	110,560	59.8	▲ 0.2	111,570	▲ 1,010
カジュアル・リユース事業	1,826	48.2	1,740	48.5	0.3	1,830	▲ 90
販売費及び一般管理費	91,303	50.3	93,800	49.8	102.7	94,900	▲ 1,100
ビジネスウェア事業	89,376	50.3	92,060	49.8	103.0	93,070	▲ 1,010
カジュアル・リユース事業	1,926	50.8	1,740	48.5	90.3	1,830	▲ 90
営業利益	17,101	9.4	18,500	9.8	108.2	18,500	0
ビジネスウェア事業	17,201	9.7	18,500	10.0	107.6	18,500	0
カジュアル・リユース事業	▲ 100	▲ 2.6	0	0.0	—	0	0
営業外収支	2,988	1.6	900	0.5	30.1	900	0
（デリバティブ評価損益）	(1,092)	(0.6)	(▲ 430)	(▲ 0.2)	—	(▲ 420)	(▲ 10)
経常利益	20,089	11.1	19,400	10.3	96.6	19,400	0
特別損益	560	0.3	▲ 2,000	▲ 1.1	—	▲ 2,000	0
当期純利益	12,249	6.7	11,300	6.0	92.2	11,300	0
1株当たり当期純利益	211円89銭	—	207円29銭	—	—	195円47銭	—

（注）1.　2016年3月期より、従来の「スーツ事業」を「ビジネスウェア事業」に名称変更しております。
2.　「前期比」は売上総利益については売上比の増減であり、その他の科目は伸率であります。
3.　「期初予想比」は、金額の増減であります。
4.　「1株当たり当期純利益」は、実績及び期初予想については期中平均株式数（自己株式を控除）、予想については中間期末株式数（自己株式を控除）で算出しております。
5.　営業外収支の「デリバティブ評価損益」は、クーポンスワップ契約等に係るものであります。
（2016年3月期の予想額は2015年9月末の為替レート日米金利差不変を前提としております。）

◆ 2016年3月期　主な経費の明細（ビジネスウェア事業）◆

【中間期】　（単位：百万円、%）

	2014年9月期（平成26年9月期）		2015年9月期（平成27年9月期）				
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	期初予想	期初予想比
人件費	13,823	20.3	14,190	19.4	102.7	14,540	▲ 350
ポイント還元	1,138	1.7	1,211	1.7	106.4	1,240	▲ 29
ポイント引当	▲ 184	▲ 0.3	▲ 69	▲ 0.1	–	▲ 180	111
広告宣伝費	4,928	7.2	4,830	6.6	98.0	5,000	▲ 170
水道光熱費	1,841	2.7	1,609	2.2	87.4	1,880	▲ 271
電算管理・インターネット管理費	750	1.1	834	1.1	111.2	1,000	▲ 166
賃借料	9,612	14.1	9,924	13.6	103.2	9,940	▲ 16
減価償却費	3,189	4.7	3,389	4.6	106.3	3,430	▲ 41

【通期】　（単位：百万円、%）

	2015年3月期（平成27年3月期）		2016年3月期（平成28年3月期）				
	実績	売上比	予想	売上比	前期比	期初予想	期初予想比
人件費	28,904	16.3	29,510	16.0	102.1	29,700	▲ 190
ポイント還元	2,678	1.5	2,780	1.5	103.8	2,810	▲ 30
ポイント引当	▲ 43	▲ 0.0	70	0.0	–	▲ 80	150
広告宣伝費	15,190	8.5	14,980	8.1	98.6	15,340	▲ 360
水道光熱費	3,525	2.0	3,360	1.8	95.3	3,725	▲ 365
電算管理・インターネット管理費	1,607	0.9	2,050	1.1	127.5	2,120	▲ 70
賃借料	19,422	10.9	19,930	10.8	102.6	20,080	▲ 150
減価償却費	6,874	3.9	7,130	3.9	103.7	7,240	▲ 110

（注）「期初予想比」は、金額の増減であります。

◆　2016年3月期　個別営業外収支の状況　◆

（単位：百万円）

	2015年3月期（平成27年3月期）		2016年3月期（平成28年3月期）	
	中間期	通期	中間期	通期予想
受取利息配当金	665	922	576	800
不動産賃貸料	882	2,023	1,498	3,080
デリバティブ評価	346	1,092	0	0
為替差益	274	668	266	520
その他	77	231	97	230
営業外収入計	2,247	4,937	2,437	4,630
支払利息	20	41	20	40
不動産賃貸原価	816	1,888	1,418	2,930
デリバティブ評価	—	—	222	430
為替差損	—	—	0	0
その他	6	19	15	330
営業外支出計	843	1,949	1,677	3,730
営業外収支	1,404	2,988	760	900
（金融収支）	(645)	(881)	(556)	(760)

（注）1.　「不動産賃貸料」と「不動産賃貸原価」は両建てとしております。
2.　「デリバティブ評価益」、「デリバティブ評価損」は、クーポンスワップ契約等に係るものであり、通期予想では2015年9月末の為替レート日米金利差不変の前提のもと、2016年3月末の為替レートを120円で見込んでおります。

【参考】デリバティブ評価損益の予想（2016年3月期）

2016年3月末予想為替レート	120円（今回予想）	125円（5円円安）	115円（5円円高）
2016年3月期上期実績	222百万円の評価損	222百万円の評価損	222百万円の評価損
2016年3月期下期予想	208百万円の評価損	28百万円の評価損	378百万円の評価損
2016年3月期通期予想	430百万円の評価損	250百万円の評価損	600百万円の評価損

◆ 2016年3月期 単位当たり売上・在庫推移（ビジネスウェア事業） ◆

	2013年9月期 平成25年9月期	2014年9月期 平成26年9月期	2015年9月期 平成27年9月期
期末従業員（個別）	3,478 人	3,612 人	3,727 人
期末臨時従業員	2,085 人	2,131 人	2,167 人
合　　計	5,563 人	5,743 人	5,894 人
平均稼動人員	5,551 人	5,826 人	5,910 人
（内　臨時従業員）	(2,081 人)	(2,222 人)	(2,187 人)
一人当たり売上	12,238 千円	11,345 千円	12,027 千円
平均稼動売場面積	513,390 ㎡	529,693 ㎡	540,115 ㎡
1㎡当たり売上	132 千円	124 千円	131 千円
平均稼動店舗数	801.0 店	837.0 店	862.0 店
1店当たり売上	84,812 千円	78,969 千円	82,463 千円
1㎡当たり期末在庫高	79 千円	83 千円	87 千円
1店当たり期末在庫高	50,746 千円	52,475 千円	54,406 千円

(注) 1.　社員は、就業人員であり、臨時従業員は、一人当たり1日8時間換算で算出しております。
2.　単位当たり売上の売上高からは、通販売上、台湾向け売上、ポイント還元額を除いております。
3.　臨時従業員は、一人当たり1日8時間換算で算出しております。

◆商品別売上高(ビジネスウェア事業)◆

消費税増税の駆け込み需要の反動減の回復などにより、スーツ、フォーマル等の売上が増加。レディスについては、就活やフォーマルの伸びもあり、引き続き好調に推移

【単位：百万円】

		2015年3月期上期		2016年3月期上期		比較増減	
		金額	構成比（%）	金額	構成比（%）	金額	伸率（%）
重衣料	スーツ・スリーピース	20,371	30.0	21,793	29.8	1,422	7.0
	ジャケット	2,741	4.0	2,798	3.8	56	2.1
	スラックス	5,487	8.1	5,372	7.3	▲ 115	▲ 2.1
	コート	207	0.3	267	0.4	60	29.1
	フォーマル	9,456	13.9	10,546	14.4	1,089	11.5
	小　　計	38,263	56.3	40,777	55.7	2,514	6.6
軽衣料	シャツ・洋品類	12,269	18.0	12,704	17.4	434	3.5
	カジュアル類	3,294	4.9	3,175	4.3	▲ 119	▲ 3.6
	その他商品	4,841	7.1	4,892	6.7	50	1.1
	小　　計	20,405	30.0	20,772	28.4	366	1.8
レディス類		6,966	10.2	8,959	12.3	1,992	28.6
ポイント還元額		1,138	1.7	1,211	1.7	72	6.4
補正加工賃		1,239	1.8	1,411	1.9	171	13.9
合　　計		68,014	100.0	73,131	100.0	5,117	7.5

（注）1.　「その他商品」は靴・肌着・雑貨等であります。

2.　「レディス類」には、レディススーツやレディスフォーマル、レディス洋品類、パンプス等が含まれております。

◆　スーツ輸入状況　◆

中国から東南アジア、特にミャンマー、インドネシアなどへの生産拠点シフトが加速。単価は円安や人件費の高騰などにより上昇。
（その他の主な国はカンボジア、ラオス、バングラディッシュ等）

（単位：千着、%）

	2013年（1月～8月）	2014年（1月～8月）	2015年（1月～8月）	数量増減率	国別構成比増減	単価	単価増減率
中国	4,295	4,156	3,368	▲ 19.0	▲ 9.6	8,061	+14.7
ベトナム	742	731	813	+11.2	+1.8	6,193	+16.7
ミャンマー	535	638	759	+19.0	+2.4	5,242	+13.2
インドネシア	318	453	545	+20.3	+1.8	5,996	+10.6
イタリア	40	37	40	+8.1	+0.1	64,700	+7.9
その他	419	555	750	+35.1	+3.5	6,819	+5.0
計	6,349	6,570	6,275	▲ 4.5	+0.0	7,511	+11.4
単価（円）	6,542	6,744	7,511	–	–	–	–
平均＄／円	96.4円	102.4円	121.0円	–	–	–	–